

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月21日更新

事務事業名	源泉徴収票等発行事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	会計	課長名 中村 誓丞
	施策	2 行政改革の推進	所属課	会計課	担当者名 中田 玖美
	施策の柱	8 会計の適正な処理	所属班	会計班	(内線) 1002
予算科目	会計一般	款 2 項 1 目 8 事業連番 11146 根拠法令	所得税法、地方税法		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	1月から12月までの1年間に市から支払った委託料や謝金、報酬等の源泉徴収票および支払調書を、受給者と受給者の居住する市町村へ毎年1月に発送する事業。また、関連事務として、合志市から報酬を支払う人でマイナンバー未登録の分について、各担当課よりマイナンバー届出書を受領し、内容審査のうえ随時登録する事務。
【業務の流れ】	(日次) 支出命令書による日々の支払の内容審査及びマイナンバー登録。 (月次) 当月支払分で徴収した源泉所得税を支払翌月10日までに税務署に納付。 (年次) 1月から12月までの源泉リストをチェックし、誤りがあれば修正。源泉徴収票および支払調書リストの出力。受給者へ源泉徴収票および支払調書を送付。
【主な予算費目】	職員手当等・需用費(消耗品費・印刷製本費)・役員費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・支出命令による日々の支払の内容審査。・当月支払分で徴収した源泉所得税を支払翌月10日までに税務署に納付した。・マイナンバー登録。・源泉徴収票および支払調書の発送を行った。	・支出命令による日々の支払の内容審査。・当月支払分で徴収した源泉所得税を支払翌月10日までに税務署に納付する。・マイナンバー登録。・源泉徴収票および支払調書の発送。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 源泉徴収票および支払調書の発行枚数	枚 源泉徴収票および支払調書発送のための職員手当等(時間外勤務手当)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市から給与や報酬等の支払を受けた者	(単位) → ア: 源泉徴収票および支払調書の発行人数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
所得税法により適正に源泉徴収されたことを確認できる。	(単位) → ア: 適正に源泉所得税を徴収できなかった件数 件
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	
適正に源泉所得税を徴収し、源泉徴収票等を発行することが目標になるので、適正に源泉所得税を徴収できなかった件数および源泉徴収票等を正確に発行できなかった件数を成果指数にすることで、その数値が低いほど目標を達成していることになる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
① 活動指標	ア	枚	1,883	1,980	2,000	2,067	2,100	2,150	2,200	2,250	
② 対象指標	ア	人	1,787	1,848	1,800	1,857	1,900	1,950	2,000	2,050	
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	127	209	201	188	206	206	206	206
		(A) 事業費計	千円	127	209	201	188	206	206	206	206
		(A)のうち指定経費	千円	6	75	62	61	67	62	62	62
		(A)のうち時間外、特勤	千円	6	75	62	61	67	62	62	62
		正規職員従事人数	人	3	5	5	5	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	325	870	400	530	440	440	440	440		
(B) 人件費計	千円	1,294	3,230	1,593	1,980	1,752	1,752	1,752	1,752		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,421	3,439	1,794	2,168	1,958	1,958	1,958	1,958		

事務事業名	源泉徴収票等発行事務	所属部	会計	所属課	会計課
-------	------------	-----	----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 これまでのやり方で事故無く源泉徴収票等を発行できたので、29年度も前年同様に実施することで、達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正に源泉所得税を徴収し、源泉徴収票等を正確に発行することが目的の事務であるため、成果の向上余地はないが、これらを今後も毎年事故なく行っていくことが重要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費のため、削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低の業務時間のため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法に基づき市が実施する事務であり、見直し余地はない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法に基づいており、移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

28年度も事故なく正確に源泉徴収票を発行することができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策